



平成 22 年 5 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社 ヤマダコーポレーション
代 表 者 名 代表取締役社長 山田 豊雄
コード番号 6392
問 合 せ 先 常務取締役 武田 守征
T E L (03) 3777-5101

平成 22 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 11 月 10 日に発表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,130	△270	△340	△550	△45.97
今 回 修 正 予 想 (B)	6,520	△10	△80	△510	△42.63
増 減 額 (B-A)	390	260	260	40	
増 減 率 (%)	6.4	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	8,297	25	△33	△142	△11.89

(2) 修正の理由

①平成 22 年 3 月期通期連結業績予想は、第 4 四半期 (平成 22 年 1 月～3 月) に入り業績は上向きに転じました。売上高も伸びを示し、これに伴い売上総利益も増加いたしました。従いまして営業損失、経常損失の前期発表予想の赤字幅を大きく圧縮することが出来る見込みであります。

この結果、当第 4 四半期の会計期間における営業利益、経常利益の期間利益は確保出来たものと思われまます。ただし当期純利益は、予定通り繰延税金資産の取崩しを実施するため、経常損失から見ますと、大幅な純損失となる予定であります。

②上記の状況を踏まえ、通期連結業績予想の売上高は 6,520 百万円 (前回予想比 6.4%増) が見込まれます。

利益面では、売上高増加に伴う売上総利益は、当累計期間で 2,390 百万円程の実績が見込まれる事、また販売費及び一般管理費が前年同期比 550 百万円 (人件費△380 百万円、経費△170 百万円 減) の削減により 2,400 百万円程の計上にとどまったことにより、営業損失は 10 百万円と前回予想比 260 百万円程の損失圧縮が見込まれます。営業外損益は、為替差損が 24 百万円にとどまった事もあり、営業外費用は 69 百万円程の発生となり、この結果、経常損失は 80 百万円程で、前回予想比 260 百万円程の損失圧縮が見込まれます。当期純損失は、繰延税金資産の取崩し等を見込んだ法人税等調整額を 390 百万円程計上予定のため、純損失は 510 百万円程になる見込みであります。

以上、通期連結業績予想を修正いたします。

以 上

※上記の業績予想は、現時点で得られた情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。